

## セルフケア健康機器に関する調査結果

### << 調査要綱 >>

矢野経済研究所では、2008年特定健診・特定保健指導の実施に先立って、『健康増進、疾病予防のためのセルフケア製品』とする『セルフケア健康機器』に関する市場調査を行った。セルフケア健康機器を『健康管理機器』『フィットネス機器』『健康回復機器』3つに分類し、それぞれに該当する製品アイテム毎に、市場規模、企業シェア、市場概況などをとりまとめた。さらに、所有状況、購入動機、次期購入製品、健康に対する意識などのインターネット消費者調査も行った。

調査対象：健康管理機器 … 家庭用電子血圧計、家庭用電子体温計、歩数計、体重体組成計  
(製品アイテム)

フィットネス機器 … フィットネス機器、乗馬フィットネス

健康回復機器 … マッサージチェア、ハンディマッサージャー & フットマッサージャー、電位治療器、低周波治療器

調査期間：2007年9月～2007年11月

調査方法：面接取材、文献調査、各種情報整理、インターネット消費者調査

インターネット調査：全国20～60代男女609サンプル(各世代100サンプル以上の合計)

資料名：2008年版 セルフケア健康機器の市場実態と将来展望

(2007年11月16日発刊 A4版249頁 定価¥115,500-(税込み))

### << 調査結果サマリー >>

#### セルフケア健康機器(10アイテム)の市場規模(2006年)は2,000億円を超える

セグメント別では、健康管理機器が633億円、フィットネス機器は550億円、健康回復機器で838億円。アイテムごとでは、マッサージチェア605億円、体重体組成計247億円、電子血圧計214億円と続く。

#### 所有する健康機器トップは体温計で90.8%。続いて、体重計、体重体組成計の順

今回行ったインターネット消費者調査の結果。上位は血圧計も含め、健康管理機器が6位まで独占。フィットネス機器のトップはステッパーの11.0%で12位。健康回復機器では、低周波治療器の19.9%で7位。

#### 健康に対して大いに不安がある19.9%、少し不安がある62.6%

今回行ったインターネット消費者調査の結果、健康に対して不安がある人(大いに不安と少し不安の合算)は82.4%にものぼる。逆に、健康に不安がまったくない人は、1.5%にすぎない。

株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長 水越孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL:<http://www.yano.co.jp/>

この件に関するお問合せ先 (当社HPからも承っております)

(株)矢野経済研究所 管理本部 広報室 : 中村 理美(なかむらりみ)

TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

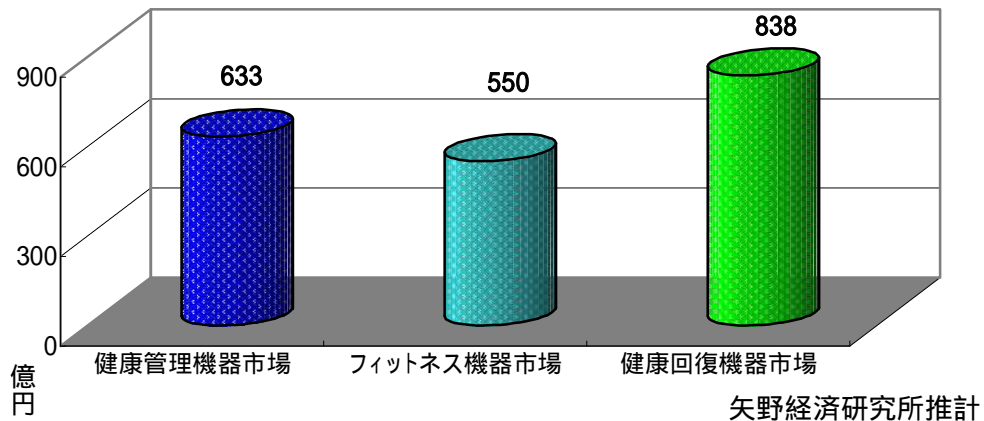
## 調査内容の解説

### << セルフケア健康機器市場の概況 >>

セルフケア健康機器市場は追い風状態が続いている。なぜなら、健康ブームが続いている上、2008 年から実施される特定健診と特定保健指導、それによって加速されているメタボリックシンドローム対策の浸透がさらなる市場活性化を導いている。

10 製品アイテムの合計によるセルフケア健康機器市場規模は 2,021 億円で、健康管理機器が 633 億円、フィットネス機器は 550 億円、健康回復機器で 838 億円。中でも、健康回復機器のマッサージチェアは 2006 年 52 万台を出荷し、605 億円となっている。(いずれも弊社推計)

図表 1 セルフケア健康機器市場 分類別市場規模 2006 年



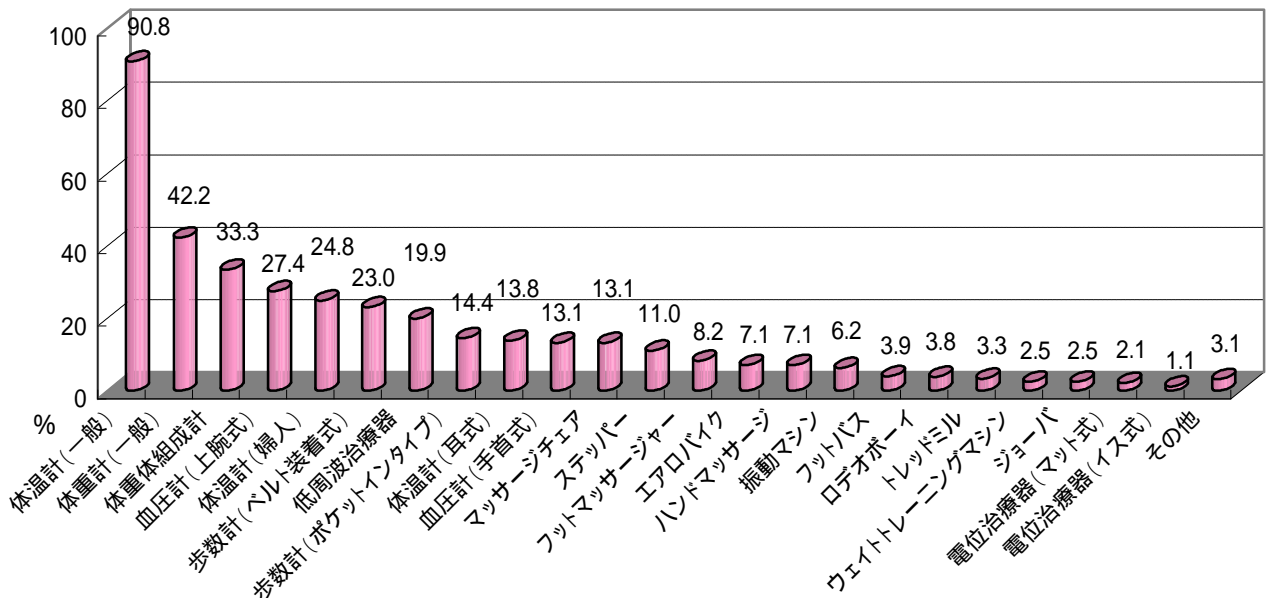
10 製品アイテム・・・家庭用電子血圧計、家庭用電子体温計、歩数計、体重体組成計、フィットネス機器、乗馬フィットネス、マッサージチェア、ハンディマッサージャー&フットマッサージャー、電位治療器、低周波治療器

### << セルフケア健康機器に関するインターネット消費者調査 >>

セルフケア健康機器の所有率

セルフケア健康機器の所有率トップは 90.8%の体温計(一般)。上位には健康管理機器が続き、順に、体重計(一般)42.2%、体重体組成計 33.3%、血圧計(上腕式)27.4%。フィットネス機器では、ステッパーの 11.0%、エアロバイク 7.1%で、健康回復機器では、低周波治療器が 19.9%、マッサージチェア 13.1%の順になっている。

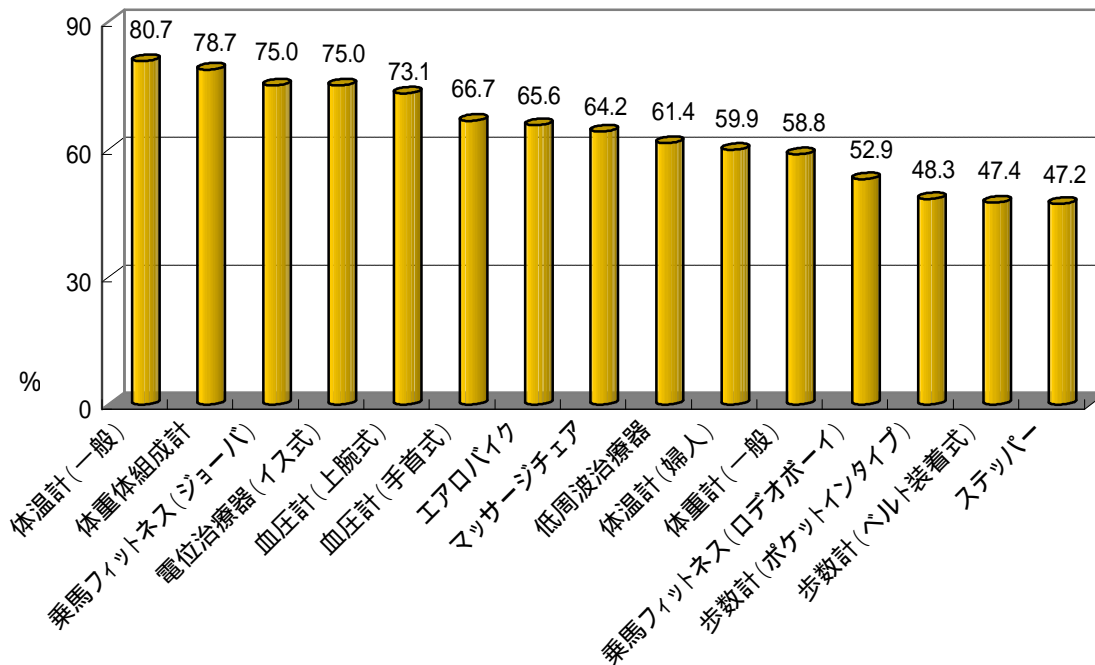
図表 2 セルフケア健康機器の所有率



### 役に立っているセルフケア健康機器

購入して所有しているセルフケア健康機器の中で、健康に役に立っている機器をみると、体温計 80.7%と一番高く、体重体組成計 78.7%、血圧計(上腕式) 73.1%と健康管理機器の満足度が高い。電位治療器(イス式) 75.0%、マッサージチェア 64.2%、低周波治療器 61.4%など健康回復機器も比較的満足度は高い。フィットネス機器では、ジョーバがトップで 75.0%。

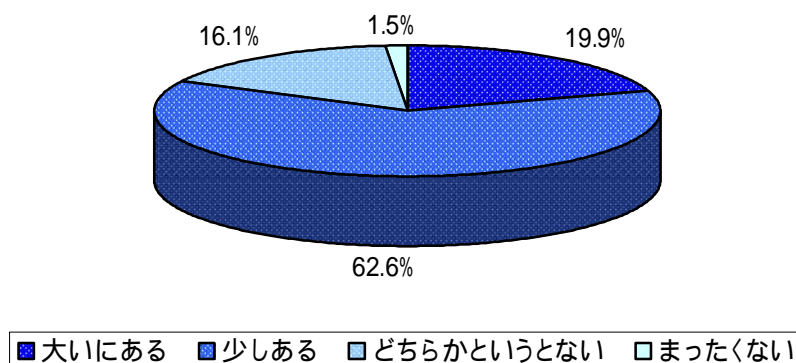
図表 3 役に立っているセルフケア健康機器上位 15 位



### 健康に対する不安

健康に対する不安状況だが、大いに不安が 19.9%、少し不安が 62.6%で、不安がある人(大いに不安と少し不安の合算)は 82.5%にもものぼる。まったく不安はない人は 1.5%にしかすぎない。

図表 4 健康に対する不安の状況



健康を不安にさせる原因をみると、男性、女性とも脂肪、体重が1位と2位。3位以降は、男性がメタボリックシンドローム、目、歯、腰痛と続き、女性は、目、ストレス、歯、腰痛の順。メタボリックシンドロームについては女性21.2%に対して男性が41.4%、ストレスでは女性46.1%と男性26.8%の違いが目につく。

図表5 健康を不安にさせる原因の男女差

男性			女性		
脂肪	151	57.9%	脂肪	151	62.7%
体重	144	55.2%	体重	143	59.3%
メタボリックシンドローム(生活習慣病)	108	41.4%	目	116	48.1%
目	108	41.4%	ストレス	111	46.1%
歯	100	38.3%	歯	111	46.1%
腰痛	90	34.5%	腰痛	91	37.8%
ウエスト	88	33.7%	ウエスト	82	34.0%
ストレス	70	26.8%	子宮	65	27.0%
心臓	56	21.5%	更年期	63	26.1%
肝臓	52	19.9%	胃	51	21.2%
胃	43	16.5%	メタボリックシンドローム(生活習慣病)	51	21.2%
前立腺	39	14.9%	乳房	38	15.8%
脳	39	14.9%	心臓	37	15.4%
肺	26	10.0%	脳	35	14.5%
その他の臓器(心臓、胃、肺、肝臓、子宮、前立腺以外)	24	9.2%	その他	26	10.8%
男性女性機能障害	17	6.5%	その他の臓器(心臓、胃、肺、肝臓、子宮、前立腺以外)	23	9.5%
その他	16	6.1%	肺	21	8.7%
更年期	8	3.1%	肝臓	18	7.5%
子宮	3	1.1%	男性女性機能障害	3	1.2%
乳房	3	1.1%	前立腺	1	0.4%
合計	261		合計	241	

世代別運動状況

世代別に日ごろの運動状況を確認すると、60代の毎日運動する23.0%に対して、20代5.6%、30代6.7%、40代5.8%、50代8.1%と格差がある。また、ほとんどしないでみて20代61.3%に対して60代30.3%と2倍以上の格差がある。

図表6 世代別運動状況

